

製品名: CIDE-3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08812**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:10000

分子量

抗原情報

遺伝子名	CIDEC
別名	CIDEC; FSP27; Cell death activator CIDE-3; Cell death-inducing DFFA-like effector protein C; Fat-specific protein FSP27 homolog
遺伝子 ID	63924.0
SwissProt ID	Q96AQ7
免疫原	抗血清はヒト CIDEC 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 189-238

背景

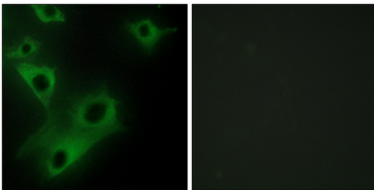
細胞死誘導 DFFA 様エフェクター c(CIDEC) Homo sapiens この遺伝子は、細胞死誘導 DNA 断片化因子様エフェクターファミリーの

メンバーをコードしています。このファミリーのメンバーはアポトーシスにおいて重要な役割を果たします。コードされているタンパク質は脂肪細胞における脂肪滴形成を促進し、脂肪細胞のアポトーシスを媒介する可能性があります。この遺伝子はインスリンによって制御され、その発現はインスリン感受性と正の相関関係にあります。この遺伝子の変異はインスリン抵抗性糖尿病の一因となる可能性があります。この遺伝子の偽遺伝子は 3 番染色体の短腕に位置しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。 [RefSeq 提供、2010 年 12 月]機能:アイソフォーム 1 および 2 はアポトーシスを誘導する。類似性:1 つの CIDE-N ドメインを含む。細胞内局在:点状に細胞質内に発現する。組織特異性:主に小腸、心臓、結腸、胃で発現し、脳、腎臓、肝臓でも低レベルで発現する。、

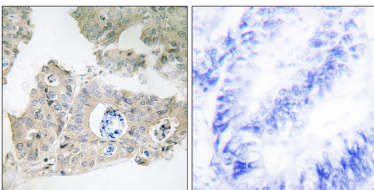
研究分野

アポトーシス

画像データ



CIDE antibodyを用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



CIDE antibodyを用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。